

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 158

事務事業名	保険給付事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	浦瀬 健心	内線	111

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020402	暮らしのセーフティネットの充実
施策		社会保障制度の安定的運営
関連施策		

会計	国民健康保険事業特別会計		
款	2	保険給付費	
項	1	療養諸費	
目	1	一般被保険者療養給付費	
事業コード	020000	一般被保険者療養給付費給付事業	

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 国民健康保険の給付を受ける者		
意図	対象をどのような状態にしたいか 被保険者に係る医療費に対して医療給付費等(保険者負担分)を適正に支払う。また、被保険者に療養費、高額療養費を適正に支払う。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 国民健康保険被保険者に係る医療費のうち、保険者負担分を国保連合会への委託により医療機関へ支払う。また、装具代等の療養費、高額療養費を被保険者の申請に基づき適正に給付する。		
事業期間	昭和 34 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	国民健康保険法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 一般被保険者療養給付費	計画値	千円	5,242,219	5,109,011	5,238,126	5,383,146
		実績値		5,017,544	5,109,042	5,389,554	
	② 一般被保険者療養費	計画値	千円	55,928	57,209	58,969	56,386
		実績値		55,416	58,282	54,474	
成果指標	① 一人当たりの療養給付費(一般被保険者)	計画値	円	264,812	260,093	265,652	274,762
		実績値		252,392	259,106	275,061	
	② 一人当たりの療養費(一般被保険者)	計画値	円	2,825	2,912	2,991	2,878
		実績値		2,737	2,956	2,780	
	①	達成度	%	95.7%	100.0%	102.9%	
		達成度	%	99.1%	101.9%	92.4%	
②	達成度	%	95.3%	99.6%	103.5%		
	達成度	%	96.9%	101.5%	92.9%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	6,275,498	6,322,227	6,568,579	6,464,305	6,702,278	6,770,488	6,839,392	0
国庫支出金	1,971,361	2,093,335	1,818,088	1,597,354	1,675,693	1,692,747	1,709,974	
県支出金	396,141	395,813	352,899	344,250	319,353	322,603	325,886	
地方債								
その他	3,012,220	2,840,464	2,522,815	2,244,125	2,456,692	2,481,694	2,506,951	
一般財源	895,776	992,615	1,874,777	2,278,576	2,250,540	2,273,444	2,296,581	
② 人件費(千円)	13,770	9,579	8,714	6,929	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.70	1.25	1.20	0.85	保険給付費の給付	保険給付費の給付	保険給付費の給付	
時間外勤務(時間)	84	20	79	50				
嘱託等人数(人)	0.05	0.05	0.05	0.35				
フルコスト(①+②千円)	6,289,268	6,331,806	6,577,293	6,471,234				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	国保連合会と連携し、医療費の適正な給付を行っている。 また、基幹系システムの更新に伴い、高額療養費支給管理システムを導入し、適正な給付を迅速に行っている。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	被保険者は減少しているものの、高齢化の進展や医療の高度化等により、医療費は増加傾向にある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	医療機関等への支払いは、国保連合会に委託して実施しており、削減の余地はない。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		
国保連合会の基準に基づいて実施しており、見直しの余地はない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	給付の状況を分析し、医療費適正化の取組みに反映させる。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	医療費の総量抑制が期待される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。